



## エコパークかごしま(産業廃棄物管理型最終処分場)

※事業主体：公益財団法人鹿児島県環境整備公社

### ■処分場の概要■

整備地：鹿児島県薩摩川内市川永野町6924番地11  
 埋立地面積：約40.7千㎡  
 埋立容量：約840千㎡  
 廃棄物の埋立容量：約600千㎡  
 埋立期間：約15年間  
 浸出水処理施設：60㎡/日  
 防災調整池：約38千㎡

### ■主要施設の概要■

覆蓋施設：屋根の面積 約44千㎡ 標高118.8～121.5 埋立地内の柱本数5本  
 遮水工構造：メタロセン系遮水シート(二重)、水密アスファルトコンクリート、  
 ベントナイト混合土、不織布(二層)及び中間保護土、漏水検知システム、自己修復材(GCL)  
 浸出水集排水施設、地下水・湧水集排水施設、雨水集排水施設、  
 管理棟、計量棟、洗車設備、防災調整池など



資源循環型社会を創造。



一般社団法人 泥土リサイクル協会

<http://www.deido-recycling.jp>

〒492-8266 愛知県稲沢市横地町12  
 TEL: 0587-23-2713 FAX: 0587-23-2734

今回の見学は、平成26年12月に竣工し、平成27年1月に開業した、鹿児島県初の産業廃棄物管理型最終処分場「エコパークかごしま」です。  
 埋立地を被覆した屋根が東京ドームとほぼ同じ広さということに、驚きました。



## Step 1

### 受入基準 および料金

XR検査(放射線使用)  
 ※ヒ素・鉛に反応



※鹿児島県における管理型処分場は県内初となるため、処理料金は、全国平均を参照するとともに、産業界の意見や要望を取り入れながら決定している。

(担当者談)

廃棄物の種類	基準
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則として鹿児島県内で排出されたものであること</li> <li>原則として二種類以上の拌受物を混載しないこと</li> <li>飛散・流出しないように必要な措置を講じていること</li> <li>著しい悪臭を発しないこと</li> <li>引火性、発火性、起爆性のないこと</li> <li>最大長がおおむね30cm以下であること(廃プラ、ゴムくず、石綿含有廃棄物は除く)</li> <li>油分を含まないこと(油膜を生じないこと)</li> <li>その他、基準に照らして判断が難しいものは、事前に相談すること</li> </ul>
燃え殻、汚泥、鋳さい、ばいじん、13号廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>溶出試験結果(※1)が判定基準(※2)に適合すること</li> <li>熱しやく減量が15%以下であること(燃え殻、ばいじん)</li> <li>含水率が85%以下であること(汚泥)</li> </ul>
廃プラスチック類、ゴムくず	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大長がおおむね15cm以下であること</li> <li>※石綿含有廃棄物は、最大長がおおむね2m以下で、シートなどにより梱包されていること</li> </ul>

※1 溶出基準結果：廃棄物処理法に定める方法により検定した場合における検出値

※2 判定基準：廃棄物処理法に基づく基準省令に規定する判定基準

産業廃棄物の種類	処理料金(1t当たり)
鋳さい、がれき類、13号廃棄物	18,000円
燃え殻、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	19,000円
汚泥	20,000円
ばいじん	21,000円
紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、動植物性残渣、廃石膏ボード、石綿含有廃棄物	22,000円
廃プラスチック類	25,000円

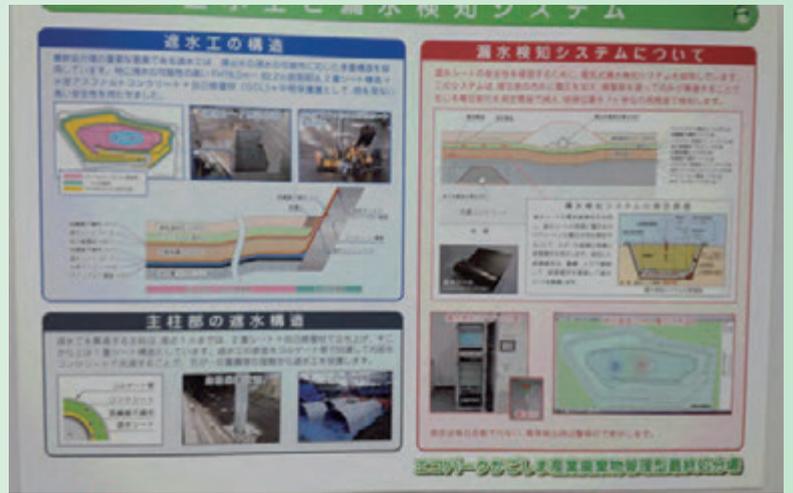
※1 同じ種類でも、成分、荷姿で料金は変わります。

※2 処理料金には、消費税及び産業廃棄物税は含まれていません。

※3 料金はエコパーク開業時のものです。

## Step2 遮水工・ 漏水検知システム

遮水工については、大学の先生方等からのアドバイスを受け、基本設計で定めた2重の遮水シートおよび水密アスファルトコンクリートに加え、遮水シートの保護材にベントナイト混合土を用いた難透水層を採用し、遮水シートの保護とともに多重の遮水機能を備えた構造となっている。



漏水検知システムは、遮水シートの電気絶縁性を利用し、遮水シートの両側に電圧をかけてシート上の電位分布を測定することで、破損の有無と破損箇所を測定。

電極は6m間隔で設置、半径1m以内で感知する。

※自己修復シート（GCL）：尖ったものが刺ささり穴が開いた場合に、水でシートが膨張することにより修復可能

## Step3 浸出水処理

廃棄物に触れた浸出水に含まれる汚濁物質を除去し、浸出水による環境への影響を防止。

浸出処理システムによって処理された水は河川へ放流せずに、処分場内の散水に循環利用。



## Step4 地下水・湧き水 集排水



直径300mmの高耐圧ポリエチレン管を採用し、窪地内で発生する地下水・湧水が滞留しないよう、集排水をする。

浸出水と地下水は完全に別々の管理が出来るように徹底している。

## Step5

### 埋立地内部



建築基準法に基づき、構造解析を行って耐震性を確保。

屋根はガリバリウム鋼板を使用し、国内最大のクローズドシステム管理型処分場。

<クローズドシステムによる効果>

- ・埋立地内への雨水の流入や粉じん・臭気の周囲への飛散及び拡散を防止
- ・天候に左右されず、計画的な散水により廃棄物の早期安定が図れる
- ・埋立地内にある5本の主柱の間隔が、最小61.5m、最大139.5mあり、廃棄物を埋め立てる作業がしやすい

### その他

現在の受入れ状況：廃石膏ボードが6～7割。

エコパークの特徴：点検用の通路を造ることにより、地下水及び浸出水の水質を管理。  
斜路部にはモノレールを材料運搬用として設置。

#### 鹿児島県内初の産業廃棄物管理型処分場

「エコパークかごしま」は東京ドームとほぼ同じ広さの屋根だと言われているとおり、埋立地内はとても広く感じました。

まだまだ搬入されてくる産業廃棄物は量も少なく、埋立地内の様子が大変よく分かりましたが、今後約15年でこの管理型処分場もいっぱいになるとされています。エコパークかごしまの広さは感じつつ、最終処分場が逼迫する現実あり、改めてリサイクルの重要性を思い知らされました。

西川

